



第8回日本褥瘡学会 関東甲信越地方会学術集会 シンポジウム

日時：6月4日(土) 15:15～16:45

会場：第1会場(メインホール)

「褥瘡治療における在宅と医療機関の連携 ～地域と職種における独自の新しい取り組み～」

在宅での褥瘡治療に各職種の連携が必要であることは最近では十分に認識されています。しかし在宅と医療機関との連携になると、まだまだ改善の余地があるように思われます。このシンポジウムでは内科医・皮膚科医・形成外科医、訪問看護師、ケアマネジャーの立場から、現在各地域で行われている連携の実際や新しい取り組みについてお話しいたします。

座長

袋 秀平 先生(ふくろ皮膚科クリニック)

南 由起子 先生(埼玉社会保険病院)

演者

久島 英雄 先生(諏訪赤十字病院 形成外科)

諏訪医療圏における在宅褥瘡治療の試み 褥瘡予防・治療を院内から在宅へ

高砂 裕子 先生(社団法人 南区医師協会 居宅介護支援センター)

利用者や家族が地域で安心して過ごせるための医療機関などとの連携の実際

松木 満里子 先生(Accommo.Care Service 株式会社)

西湘地区における在宅褥瘡患者の傾向と新しい取り組み

鈴木 勇三 先生(医療法人篠原湘南クリニック・クローバーホスピタル)

「褥瘡治療における在宅と医療機関の連携」～藤沢褥瘡研究会の取り組み～

村木 良一 先生(医療法人キリスト会わたひきクリニック)

在宅褥瘡ケアと皮膚科医の役割

高橋 真紀 先生(東北大学病院 看護部 WOCセンター)

被災地での医療支援～東北大学病院のWOC領域の現状～

共催

第8回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会

株式会社ケーブ

日東メディカル株式会社